事業シート（令和9年度予算）

事業名	94700　市内遺跡発掘調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2354		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 ・県指定史跡の国指定への格上げ	概要	・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財の記録保存 ・保存活用の必要な遺跡の内容確認 ・国指定に向けた調査の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
国・県指定・登録文化財の件数	181件		190件

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		6,700	5,693	5,190			
特定財源	国費（ 埋蔵文化財発掘調査事業費 1/2 ）	2,700	1,888	2,040			
	県費（ ）						
	その他（ 宿泊税 ）	660	500	1,100			
一般財源		3,340	3,305	2,050			
新規・拡充	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	1,560	1,120	1,630			
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けた調査	3,820	3,457	2,460			
	高山城跡の保存活用に向けた調査	1,320	1,116	1,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			5,100
4,595			△ 595
1,665			△ 375
			△ 1,100
2,930			880

要求額	説明
1,752	
1,600	
1,243	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・中組遺跡の試掘等確認調査の実施 ・広瀬城跡の赤色立体地図作成、試掘確認調査の実施 ・高山城跡の石垣計測・図化等測量調査の実施	
評価等	・開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 ・広瀬城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。 ・高山城跡の保存と活用に向けた測量調査を実施した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・開発に対応するため、継続して事業を実施する。 ・広瀬城跡の国指定に向けた取り組みを行う。 ・高山城跡の保存と活用に向けた取り組みを行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94720　文化財保護事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	地域の元気を支える未来の担い手づくり		
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2354		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 伝統が息づくまちを守ります
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 ・文化財保護行政の円滑な執行	概要	・文化財保存団体に対する助成 ・史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 ・文化財関係の協議会等への参加

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
国・県指定・登録文化財の件数	181件		190件

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		14,841	13,981	14,767			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　無形文化遺産伝承事業費 1/2、県移譲事務交付金　）	1,265	1,231	1,231			
	その他（　　）						
一般財源		13,576	12,750	13,536			
新規・拡充	主な事業内容						
	文化財保護団体の保存活動に対する助成	11,388	10,896	11,144			
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	実施計画額 市長査定額	14,900 増減 (d)-(c)
15,225			458
1,231			0
13,994			458

要求額	説明
11,589	
2,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・補助件数　65件 伝統的建造物群保存地区保存会　11団体 高山祭屋台管理　1団体 からくり屋台管理技術伝承保存　1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成　1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得　2社、2名 伝承芸能保存団体　18団体 無形文化財・無形民俗文化財保存団体　6団体 史跡保存団体　14団体 国指定文化財管理　8団体 無形文化遺産保存団体　1団体	
評価等	・伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。	
次年度以降の考え方（担当課）	・保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94725　指定文化財保存修理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント				
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2355		目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		9,905	9,765	11,040			
特定財源	国費（　国指定文化財修理事業費 1/2　）	1,500	1,446	1,300			
	県費（　県指定文化財修理事業費 2/3　）	3,130	3,136	120			
	その他（　宿泊税　）			1,300			
一般財源		5,275	5,183	8,320			
新規・拡充	主な事業内容						
	市指定文化財の保存修理	2,205	2,200	7,250			
	国指定文化財の保存修理	3,000	2,860	3,600			
	県指定文化財の保存修理	4,700	4,705	190			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 9,900 増減 (d)-(c)
3,089			△ 7,951
			△ 1,300
			△ 120
			△ 1,300
3,089			△ 5,231

要求額	説明
3,089	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・国指定天然記念物臥龍のサクラの保護工事の実施 ・保存修理等に対する助成 ・市指定文化財　東照宮の歴史遺構 ・県指定文化財　櫻の襖絵、国府町金蔵獅子	
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94750　伝統的建造物群保存地区保存事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	9	教育費
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2356		項	4	社会教育費
					目	7	文化財費

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(3)	歴史文化

根拠計画	教育振興基本計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・伝建地区内における伝統的な町並みを維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	78.0%		90.0%

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		23,600	23,492	17,600			
特定財源	国費（　伝統的建造物群保存地区保存事業費 1/2　）	11,550	11,500	8,550			
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		12,050	11,992	9,050			
新規・拡充	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景に対する助成	23,000	22,907	17,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	23,600 / 増減 (d)-(c)
25,210			7,610
12,355			3,805
12,855			3,805

要求額	説明
24,610	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・修理修景に対する助成　3件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方（担当課）	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

- ☑ 維持・改善
- ☐ 拡大
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止検討
- ☐ R7完了
- ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	

- ☐ 維持・改善
- ☐ 拡大
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止検討
- ☐ R8完了
- ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94755　伝統的建造物群保存地区防災対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2356		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・伝建地区を災害に強い町並みとするために、伝建地区内の防火帯としての土蔵の整備や防災設備の整備を継続して実施し、防災能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の防火帯としての土蔵等の整備事業に対する補助 ・防災設備等の整備

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	78.0%		90.0%

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		25,330	25,091	34,100			
特定財源	国費（　伝統的建造物群保存地区保存事業費 1/2　）	11,550	11,435	17,050			
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		13,780	13,656	17,050			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	伝統的建造物群保存地区防災対策（土蔵整備）に対する助成	23,000	22,821	34,000			
○	感震ブレーカー設置に対する助成						
○	伝統的建造物群保存地区耐震補強整備						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	25,400 増減 (d)-(c)
20,300			△ 13,800
10,150			△ 6,900
10,150			△ 6,900

要求額	説明
12,200	
2,000	
6,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・土蔵等整備事業への補助　4件	
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・感震ブレーカーの設置に対する助成に必要な経費を計上 ・宮地家住宅の耐震補強に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94757　伝統的建造物群保存地区拡大事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2356		款	9	教育費			ポイント			市長公約	
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流		
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・優れた歴史的な町並みを後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み保存対策調査の実施 ・国への選定申出に必要な手続き

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
保存対策調査、選定	協議		伝建選定

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,300	946	150			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		1,300	946	150			

新規・拡充	主な事業内容						
	重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取組	1,300	946	150			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	1,600 増減 (d)-(c)
150			0
150			0

要求額	説明
150	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・報告書をもとにした地元への説明、意見交換の実施 ・対象地域の手続きに係る図面の作成	
評価等	・まちづくり協議会や町内会などへ調査成果を報告し、今後の取り組みについての意見交換を行った。 ・対象地域の関係機関との協議等の手続きに必要となる図面の作成を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・報告書をもとに、地元住民や市民向けの調査成果の報告会を開催し、町並み保存への理解を深める。 ・国の選定に係る必要な手続きについて、文化庁等関係機関との調整を進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94760　歴史遺産等保存活用事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2355		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 ・文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 ・記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 ・美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。	概要	・歴史街道の調査・整備を行う。 ・伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 ・文化財標柱・説明看板等を整備する。 ・美しいふるさと認証団体を募集し認証する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
美しいふるさとの認証団体数（累計）	138団体		160団体
国・県指定・登録文化財の件数	181件		190件

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		2,358	1,674	15,550			
特定財源	国費（　史跡等保存活用事業費　1/2　）			2,000			
	県費（　）						
	その他（　夢まちづくり基金繰入、飛騨高山ふるさと基金繰入　）			9,000			
一般財源		2,358	1,674	4,550			
新規・拡充	主な事業内容						
	歴史講座の開講	290	200	290			
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	1,318	1,013	8,380			
	日本遺産の活用	160	99	180			
	松倉城跡保存活用事業	590	362	4,350			
	歴史資料調査及び整理の実施			2,350			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			5,300
10,557			△ 4,993
2,181			181
			△ 9,000
8,376			3,826
要求額	説明		
350			
1,682			
185			
4,750			
3,590			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・天然記念物保護管理（臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群） ・文化財説明看板等製作　3箇所 ・「語り部養成講座」を4回（7講座）開講（延べ162名参加） ・松倉城跡保存活用事業の実施 ・日本遺産サイクルラリー、フォトラリー、スタンプラリーの実施	
評価等	・地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の更新・設置を行う。 ・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みとして、幅広い分野の講座を継続して開催する。 ・広く地域振興に寄与する取り組みを中心として日本遺産の活用を図る。 ・文化財保存活用地域計画に沿った取り組みを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・歴史資料整理に必要な経費を計上 ・松倉城跡保存活用計画の策定に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94770　高山祭屋台保存修理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2354		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 伝統が息づくまちを守ります
					目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され。郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		42,102	41,459	42,200			
特定財源	国費（ 高山祭屋台等保存修理事業費 1/2 ）	21,000	20,729	21,100			
特定財源	県費（ 高山祭屋台等保存修理事業費 1/4 ）	1,000	1,152	1,000			
特定財源	その他（ 高山祭屋台等保存修理事業費寄附金 ）	4,200	4,145	4,200			
一般財源		15,902	15,433	15,900			
新規・拡充	主な事業内容						
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	42,102	41,459	42,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			42,100
42,409			209
21,058			△ 42
1,000			0
4,211			11
16,140			240

要求額	説明
42,409	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・恵比須台、行神台、神馬台、五台山、崑崗台、鳩峯車、石橋台、金鳳台　修理 ・宝珠台屋台蔵　修理	
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94800　飛騨高山まちの博物館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2977		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 ・観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	・城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗
飛騨高山まちの博物館の来館者数（年間）	229,043人		232,000人
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	28,197件		32,137件

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		22,212	20,227	24,915			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（文化財施設使用料、市史等販売雑入　　）	91	252	70			
一般財源		22,121	19,975	24,845			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	22,212	20,227	23,815			
	飛騨高山まちの博物館照明LED化改修			1,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	22,300 増減 (d)-(c)
76,797			51,882
70			0
76,727			51,882

要求額	説明
24,959	
51,838	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・特別展を開催　4回 ・歴史講座等を開催　9回（特別展記念講演会2回、特別展関連講座1回、ギャラリートーク6回） ・施設利用者数 　来館者数　229,043人 　研修室利用者数　4,722人 ・飛騨民俗村飛騨の里での武将隊による火縄銃実演・甲冑劇開催　1回	
評価等	・郷土資料である町会所文書を計画的に公開し、歴史研究への活用を図った。 ・美術展示室常設展、および特別展の図録を刊行し、広く市民に所蔵資料を紹介した。 ・借用展示している円空仏を県外で展示、紹介し、高山市および博物館のPRにつなげた。 ・民間団体と協働で所蔵資料の調査整理作業を実施した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。 ・計画的に常設展のリニューアルを行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・照明LED化改修に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94810　文化財施設管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント			市長公約	
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2355		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流		
					目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 ・収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 ・発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 ・市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。	概要	・指定管理による文化財施設の運営 ・文化財収蔵施設等の維持管理 ・風土記の丘学習センター等の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		69,510	65,884	71,404			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（敷地占用料、建物貸付収入）	297	137	288			
一般財源		69,213	65,747	71,116			
新規・拡充	主な事業内容						
	文化財施設の管理	68,471	64,833	70,404			
	民具資料の整理調査	1,039	1,051	1,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	実施計画額 67,800 増減 (d)-(c)
72,064			660
1,494			1,206
70,570			△ 546
要求額	説明		
70,793			
1,271			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理7施設入館者数　169,103人 ・風土記の丘学習センター縄文体験講座等の開催 参加者　土器づくり講座　121人（付き添い含め161人） 勾玉づくり講座　34人 あじろ編みコースターづくり講座　19人 古代たかやま体験講座　157人	
評価等	・公開施設を指定管理に委託し、効率的な管理・運営を行った。 ・風土記の丘学習センターにて子ども向け講座（土器づくり、勾玉づくり等）を開催した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設の機能強化や来館者のさらなる増加に向けて対策を講じ、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94830　飛騨高山まちの体験交流館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント				
担当課	教育委員会事務局　文化財課	内線	2959		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		32,820	32,701	33,200			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		32,820	32,701	33,200			

新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	32,820	32,701	33,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	31,800 増減 (d)-(c)
31,867			△ 1,333
31,867			△ 1,333

要求額	説明
31,867	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数　256,677人 研修室利用者数　733人 交流広場利用者数　27,593人 ・実演、体験実績　10,728人 ・交流広場イベント　14件	
評価等	・伝統産業や市指定無形民俗文化財の有道しゃくしなどの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 ・教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。 ・実演、体験者数の増加はみられるものの、魅力ある施設として、更なる施設利用者の増加を図る必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・指定管理者と連携して、伝統文化の体験の場としての利活用や交流広場における様々なイベントでの利用を促進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	